

< 18-25 >

2018年11月

先生各位

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび下記検査項目の受託を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

謹白

記

■新規受託項目:

- ・ 特異的 IgE Jug r 1 (クルミ由来) [項目コード:2056]
- ・ 特異的 IgE Ana o 3 (カシューナッツ由来) [項目コード:2057]

■新規受託開始日:

2018年 12月 3日(月)受付分より

以上

※ 裏面をご覧ください。

特異的 IgE 検査では主に粗抽出抗原が用いられており、その中には様々なタンパク質が含まれています。粗抽出抗原の構成成分のうち特定の成分をアレルゲンコンポーネントと呼びますが、それらにはアレルギーの症状誘発に関連、あるいはアレルゲン特異的な成分が含まれており、それらを個々に検査することは、真のアレルギー起因物質を特定するのに有用とされています。

●特異的 IgE Jug r 1 (クルミ由来)

クルミに関しては、WHO/IUISにJug r 1～8のコンポーネントが登録されており、その一つ「Jug r 1」は貯蔵タンパク質で2Sアルブミンに属し、重篤なアレルギー症状と関連すると報告されています。

●特異的 IgE Ana o 3 (カシューナッツ由来)

カシューナッツに関しては、WHO/IUISにAna o 1～3のコンポーネントが登録されており、その一つ「Ana o 3」はJug r 1と同様、2Sアルブミンに属し、重篤なアレルギー症状と関連すると報告されています。

ナッツを使用している食品は数多くあり、ナッツに含まれるこれらの2Sアルブミンの特徴は熱や消化に安定で、食品中の含有量は多いとされています。

クルミおよびカシューナッツアレルギーは小児のみならず成人にも発症することがあり、またアナフィラキシーによる重篤な病態に陥ることがあるため、確定診断に用いられる食物負荷試験には危険が伴います。しかし、Jug r 1 およびAna o 3のコンポーネント検査結果は、食物負荷試験の安全実施の一指標となり、原因食物除去を必要最小限に止める一助となり得る可能性があります。

また、これらのコンポーネント検査は特異度が高いため、従来の粗抽出抗原を用いた特異的 IgE クルミやカシューナッツと併用することで、より精度の高い診断に有用と考えられます。

■検査概要:

項目コード	2056	2057
検査項目名	ジャグ アール ワン 特異的IgE Jug r 1 (クルミ由来)	アナ オー スリー 特異的IgE Ana o 3 (カシューナッツ由来)
検体量/保存方法	血清 0.3 mL / 冷蔵	
検査方法	FEIA 法	
基準値	クラス 0 0.35 U _A /mL 未満	
所要日数	2 ~ 4 日	
検査実施料	各 110 点([D015]血漿蛋白免疫学的検査「12」特異的IgE半定量・定量)	
判断料	144 点(免疫学的検査判断料)	